

学校運営への児童生徒の参画についての一考察
―生徒の自治的能力の形成と学校運営協議会の活性化―

1240411 岡俊樹

指導教員 中村直人

研究背景

「常時啓発事業のあり方等研究会」最終報告書(総務省 2011)によると、将来の有権者の意識を醸成するための課題として、学校の在り方や学校民主主義の欠如を指摘している。しかし、近年、学校運営に児童生徒を参画させ、児童生徒の声を学校運営に生かすことで、学校教育における学校民主主義に取り組む事例が窺えるようになった。だが、現状としてそれらの実践事例は少数に留まり、また、自治的能力の形成について、その効果の測定に関する児童生徒の能力の形成調査に至っていないという現状がある。

研究目的

本研究は、学校運営協議会という学校運営を決議する場に児童生徒が参画することが、児童生徒の自治的能力の形成に寄与するのか、また、学校運営協議会の活性化に寄与するか考察することが目的である。

研究方法

本研究では、学校運営への児童生徒の参画について取り組む岡山県矢掛中学校と高知県黒岩小学校にて実地調査を実施した。また、岡山県矢掛中学校では参画した生徒を対象にアンケートを実施した。両調査をもとに、学校運営への児童生徒の参画が、児童生徒の自治的能力の形成や学校運営協議会の活性化に寄与するか考察する。

分析結果

実地調査を実施した両校では、積極的に学校運営への児童生徒の参画に取り組もうとする熱意を感じることができた。また、アンケート調査からは、生徒の自治的能力の形成に寄与する可能性を示す分析結果が示され、インタビュー調査では、両校ともに学校運営協議会の活性化について肯定的に捉えられていた。

考察・結論

学校運営への児童生徒の参画が、児童生徒の自治的能力の形成と学校運営協議会の活性化について寄与する可能性があることを考察できた。また、児童生徒の意見を取り入れた学校運営が地域住民や保護者の学校運営に対する当事者意識を醸成することについても考察した。これらの調査結果を踏まえ、学校運営への児童生徒の参加は主権者教育に位置づけられ、今後の児童生徒の意見を踏まえた学校運営の重要性を考察し、結論とした。

高知工科大学 経済・マネジメント学群
2023 年度 卒業論文

学校運営への児童生徒の参画についての一考察
—生徒の自治的能力の形成と学校運営協議会の活性化—

指導教員氏名 中村直人

学籍番号 1240411

氏名 岡俊樹